

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）					
地区名	新小中山地区					
事業箇所	田原市小中山町地内					
事業のあらまし	<p>本地区は、渥美半島の先端に位置し、北側と西側を渥美湾、東側を二級河川天白川に囲まれた流域 474.4ha の農業用排水機場を改修するものである。</p> <p>地区内の排水は、通常時は渥美湾へ自然排水されるが、洪水時は渥美湾の水位が上昇し自然排水が不可能となるため、3か所に設置された排水機場（小中山排水機場、渥美第1排水機場、一本松下排水機場）により渥美湾へ強制排水している。</p> <p>しかし、地区内開発による降雨流出量の増加や既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下により、地区の排水状況は著しく悪化しており、豪雨時にはしばしば湛水被害が生じていた。営農に支障をきたしているばかりか、民家や公共施設にも被害が及んでいる。</p> <p>このため、機能低下が著しい排水機場2か所（小中山排水機場、渥美第1排水機場）を統廃合し、排水機場1か所を新設整備することにより地区の湛水被害を防止し、農業経営と県民生活の安定を図ることを目的として、2011年度からたん水防除事業を実施し、2020年度に完成した。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 機能低下した既設排水機場2か所を統廃合し、機場1か所を新設整備して、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止することにより、地域住民の安全・安心を確保するとともに、農業経営の安定を図る。 <p>（基準雨量 319mm/3日、1/20年確率降雨量）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	11.7億円		■工事費 11.0億円、 ■用補費 0.1億円、 ■その他 0.6億円			
事業期間	採択年度	2011年度	着工年度	2012年度	完成年度	2020年度
事業内容	<p>排水機場 1箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中山排水機場(φ1000mm, φ1200mm 各1台) <p>導水路 L=140m</p>					

II 評価

①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了後、最大3日連続降雨量は2023年6月1日～6月3日に460.0mm（最大1時間雨量60.0mm）を観測し、一部住宅が床下浸水したが、計画基準以下の降雨では農地や農業用施設、公共施設等の湛水被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 （伊良湖観測所降雨データ）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大3日連続降雨量</td> <td>319.0mm</td> <td>176.5mm</td> <td>221.0mm</td> <td>230.0mm</td> <td>460.0mm</td> <td>250.0mm</td> </tr> <tr> <td>（最大1時間雨量）</td> <td>78.7mm</td> <td>35.5mm</td> <td>36.0mm</td> <td>66.5mm</td> <td>60.0mm</td> <td>47.0mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>計画基準以下の降雨においては、農地や農業用施設、公共施設等の湛水被害は発生しておらず、本事業は県民生活の安全・安心に寄与していると評価できる。</p>	区分	計画	2020	2021	2022	2023	2024	最大3日連続降雨量	319.0mm	176.5mm	221.0mm	230.0mm	460.0mm	250.0mm	（最大1時間雨量）	78.7mm	35.5mm	36.0mm	66.5mm	60.0mm	47.0mm
	区分	計画	2020	2021	2022	2023	2024																
最大3日連続降雨量	319.0mm	176.5mm	221.0mm	230.0mm	460.0mm	250.0mm																	
（最大1時間雨量）	78.7mm	35.5mm	36.0mm	66.5mm	60.0mm	47.0mm																	

	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>
--	--------------	---

②事業効果の発現状況	【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】																																																				
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>事前評価時 (2010)</th> <th>再評価時 (2017)</th> <th>実績 (2020)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">事業期間</td> <td>2011～2017 (7年間)</td> <td>2011～2018 (8年間)</td> <td>2011～2020 (10年間)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費 (億円)</td> <td>工事費</td> <td>12.1</td> <td>13.3</td> <td>11.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償費</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.7</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13.9</td> <td>14.4</td> <td>11.7</td> <td>2.7億円減</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">効果の 算定要 因</td> <td>流域面積</td> <td>474.4 ha</td> <td>474.4 ha</td> <td>474.4 ha</td> <td>増減なし</td> </tr> <tr> <td>農地面積</td> <td>338.2 ha</td> <td>338.1 ha</td> <td>336.9 ha</td> <td>1.2ha 減</td> </tr> <tr> <td>宅地等面積</td> <td>136.2 ha</td> <td>136.3 ha</td> <td>137.5 ha</td> <td>1.2ha 増</td> </tr> </tbody> </table> <p>【事業期間に対する評価】</p> <p>再評価時より事業期間を2年延長したが、既存の排水機場を活かしながら工事を進めたため、湛水被害等は発生しておらず、期間延長による影響はなかった。</p> <p>【事業費に対する評価】</p> <p>工事費の積算精査及び工事の入札結果（請負差額）等により、再評価時より事業費が2.7億円減で事業完了できた。</p> <p>【効果の算定要因に対する評価】</p> <p>再評価時と比較して、流域面積の増減はなく、農地面積は微減している。</p> <p>排水機場の整備により湛水被害が防止されており、効果については、概ね計画どおり発現していると評価できる。</p>					項目		事前評価時 (2010)	再評価時 (2017)	実績 (2020)	備考	事業期間		2011～2017 (7年間)	2011～2018 (8年間)	2011～2020 (10年間)		事業費 (億円)	工事費	12.1	13.3	11.0		用地補償費	0.1	0.1	0.1		その他	1.7	1.0	0.6		合計	13.9	14.4	11.7	2.7億円減	効果の 算定要 因	流域面積	474.4 ha	474.4 ha	474.4 ha	増減なし	農地面積	338.2 ha	338.1 ha	336.9 ha	1.2ha 減	宅地等面積	136.2 ha	136.3 ha	137.5 ha
項目		事前評価時 (2010)	再評価時 (2017)	実績 (2020)	備考																																																
事業期間		2011～2017 (7年間)	2011～2018 (8年間)	2011～2020 (10年間)																																																	
事業費 (億円)	工事費	12.1	13.3	11.0																																																	
	用地補償費	0.1	0.1	0.1																																																	
	その他	1.7	1.0	0.6																																																	
	合計	13.9	14.4	11.7	2.7億円減																																																
効果の 算定要 因	流域面積	474.4 ha	474.4 ha	474.4 ha	増減なし																																																
	農地面積	338.2 ha	338.1 ha	336.9 ha	1.2ha 減																																																
	宅地等面積	136.2 ha	136.3 ha	137.5 ha	1.2ha 増																																																

③ 事業実施 による環境 変化	施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用し、既設の排水路、遊水池に生息する魚類が、工事施工箇所に入らないように注意して施工することにより、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はほとんどない。
III 対応方針（案）	
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	工事中においても湛水被害防止に配慮するため、既設機場の排水機能を活かし、予備排水により降雨に備えるなどの対応が必要であった。今後同種事業においても、排水機場管理者と調整し、こうした対応を行うことが重要である。
IV 事業評価監視委員会の意見	
新小中山地区の対応方針(案) [改善措置等必要なし] を了承する。	
V 対応方針	
改善措置等必要なし	